

平成29年度第2回山口県県民活動審議会の概要

1 開催日時・場所

平成30年2月15日（木）13:30～15:00 県議会棟第2特別委員会室

2 出席者

委員 沖村委員、河向委員、岸田委員、辻委員、永田委員、速水委員、
弘田委員、横山委員、渡邊委員

※ 欠席委員：大田委員、酒井委員

県（事務局） 佐伯環境生活部長、武林県民生活課長、
県民活動推進班 伊藤班長、大久保主査、金本主査
やまぐち県民活動支援センター 伊藤センター長

3 概要

（1）会議概要

山口県県民活動促進基本計画の第3次改定に向けて、計画の骨子案や今後のスケジュール等を事務局より説明し、委員より意見をいただいた。

（2）主な意見

- 評価指標の設定は重要だが、何に力を入れているのかが分かるように、設定や目標値の根拠を示す必要がある。また、山口らしい、メッセージ性のある評価指標を考えてほしい。
- 県民活動団体と事業者との協働を進めるため、一定規模以上の事業者について社会貢献活動に関する目標を立ててもらい、達成すれば「県民活動優良企業」等に認定し、インセンティブを付与してはどうか。企業側もPRになる。
- 中間支援団体による支援が重要であり、各団体の協働に向けて、強みを結びつけるアドバイザーが必要。
- 計画の骨子案の中で「認定NPO法人への移行促進」とあるが、認定手続きが大変である。認定をもっと取りやすくなるよう、運用面での改善等何らかの支援が必要。
- 学生のボランティア活動への意識自体は高いので、若者の特性を踏まえながら、SNSの動画等で可視化して、ボランティアの内容を分かりやすく伝えれば参加につながるのではないかと。
- 企業や地方公共団体の退職者には、自分たちの持っているノウハウを活かして県民活動に取り組んでほしい。